

平成30年度の事業報告書

平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人HSEリスク・シーキューブ

1 事業の成果

平成30年度、当NPO法人は、「行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業」として、東海村より受託した東海村より受託した住民原子力懇談会開催業務により、2自治会の住民と、村、原子力事業所、国との懇談会の実施支援を行った。また、「社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり推進業務委託」において、「地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業」の対象研究の選定、推進支援、成果報告企画を行うとともに、児童参加型エネルギー学習ワークショップや大人向けサイエンス講座を企画・実施した。関連してTOKAI原子力サイエンスフォーラムの企画と実施支援も行った。

「安全及び環境の保全に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業」として、福島第一原子力発電所の見学会の企画立案を行った。

「科学技術リスクに係るリテラシー養成事業」では、大人向けサイエンス講座として「太陽光発電システムのメリットとよくある疑問」「電力自由化で料金はどう変わる？」を実施し、村民が科学技術リテラシーを高める機会を提供した。

「リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業」では、ホームページ上で活動状況を開示するとともに、平成27年10月に発行した記念誌の内容を公開した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業	東海村住民原子力懇談会業務	31/03/12 31/03/26	東海村	2名 2名	東海村住民6名、村、国、日本原電 東海村住民7名、村、国、日本原電	177
	社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり推進業務委託	30/04/01 ～ 31/03/31	東海村	2名	東海村および周辺市町村の住民	1,763
安全及び環境の保全に係わる施設・活動の視察および改善提言の事業	福島第一原子力発電所の見学会企画立案と準備	30/04/01 ～ 31/03/31	東海村	10名	東海村および全国の関心者	0
科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業	サイエンス講座の企画立案と実施	31/01/19 31/03/09	東海村	10名	東海村及び周辺市町村の関心者	0
リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業	ウェブサイトの運用	30/04/01 ～ 31/03/31	千葉県	1名	全国の関心者	13

※サイエンス講座は「社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり推進業務委託」の中で実施した。